

弥山岳 (ややまだけ)

福岡県 嘉穂郡桂川町

2023年 12月8日

花フォト俳句で繋がる登山道



麓の「湯の浦総合キャンプ場」で弥山岳のコース案内図を確認

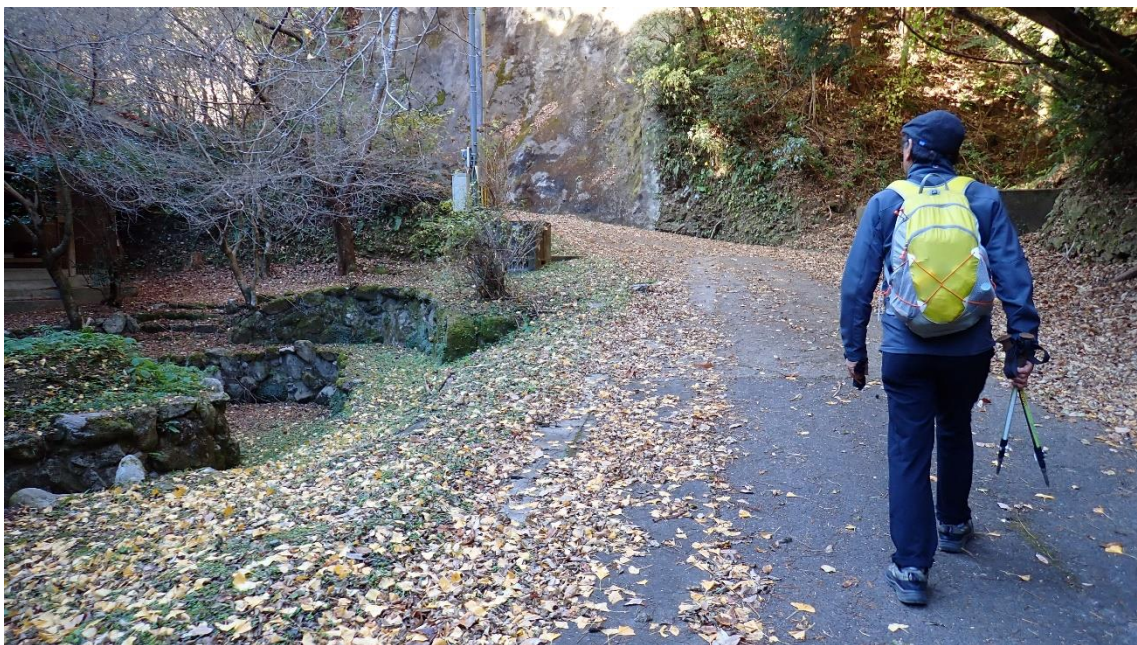
本日のコース <全行程 3時間03分>

駐車場 10:20 → キャンプ場 10:25 → 七曲り登山口 10:37 → 三合目 10:53 →
五合目 10:58 → 七合目 11:09 → 新道コース分岐 11:13 → 展望台 11:19 →
グラウスコース分岐を通過 11:32 → 弥山岳山頂 11:40 → 展望台 11:54 <昼食休憩>
12:37 → グラウスコース分岐 12:38 → グラウスBコース分岐 12:46 → グラウス登山口
13:09 → キャンプ場 13:20 → 駐車場 13:23

12月の低山巡りは嘉穂郡桂川町の弥山岳。この山は「グラウス山愛会」や「弥山岳を守る隊」がお世話されている桂川町の最高峰(377m)である。山頂までの登山道には、手作りで写真や俳句が掲示され、又、鹿避け柵で植生保護などかなり力を入れて整備・管理されている。しかしながら、昨今の大雨の影響なのか、下山コースに使うグラウスコースはがけ崩れなどが発生。代わりにグラウスBコース(ショートカット)が設けられていて、その赤テープルートを辿って下山した。展望台からは、福智山、貫山、香春岳、英彦山、馬見山、古処山等が見えて満足。



駐車場 10:20 イチョウの落葉が広がる駐車場だった
すぐ横に川が流れていて、水を汲みに来る人もいたようだ。ここはキャンプ場の入口となっている。この上にキャンプ場があり、そのすぐ近くに弥山岳の登山口がある。



舗装道路を歩いて行くと・・・ 10:21



湯の浦総合キャンプ場 10:24 車が数台停まっていた
この駐車スペースは3台。キャンプ場利用者が優先となっている。



キャンプ場トイレ 10:25 立派なトイレが設置されている
このキャンプ場、バンガローもあって夏場は賑わうのだろう。



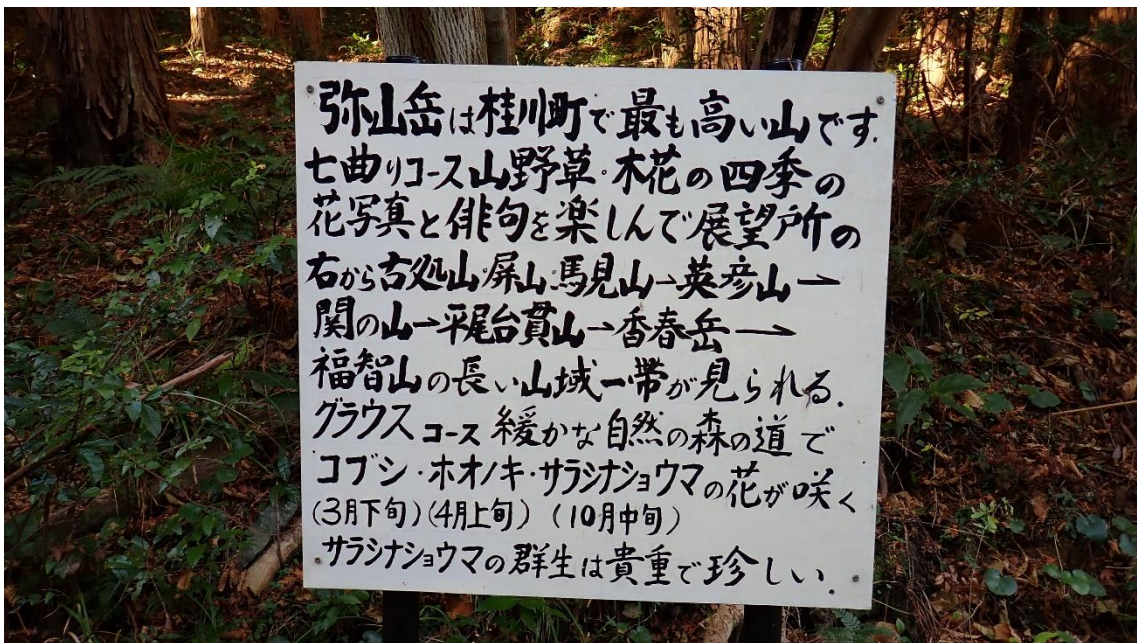
キャンプ場から登山口へ向かう 10:33 落ち葉の絨毯



登山者人数の計測はペットボトルのキャップ
ここを通過すると右手に七曲りコース登山口



七曲りコース登山口 10:37



いろいろと説明書きが・・・
弥山岳に対する熱い思いが溢れている



七曲りコース登山口を出発 10:38

この先にはグラウスコースがあるが、グラウスとはどんな意味だろう？

下山にグラウスコースを歩き周回してここまで戻る計画だ。



出発してすぐに立て看板 10:39 これが自慢の写真と俳句だ。

「んっ、すぐには読めないぞ」(笑)

花の名前は漢字になると難読で、すんなり読めない自分が情けない。



薩摩稲守(サツマイナモリ) 10:40

灰々と→ほのぼのと



宝鐸草(ホウチャクソウ) 10:40

宝鐸とは→お寺の堂の四隅の軒下に下げた鈴



射干(シャガ) 10:44



晒菜升麻(サラシナショウマ) 10:49
弥山岳はサラシナショウマの群生が有名な



一葉草(イチヤクソウ) 10:51



筆竜胆(フデリンドウ) 10:52

登山道を歩いて行くと、このような立て看板が1分毎に現れる
このホームページで紹介しているのはごく一部です。



三合目 10:53 三体のお地藏さんが鎮座



鹿の食害から守る頑丈な囲い柵が並ぶ 10:56 囲い柵の中にはキンラン



金蘭(キンラン)



五合目 10:58 真弓(マユミ)



七合目分岐 11:09 尾根に乗った
ここから左折して200mで山頂だ！



広くて歩き易い尾根道 11:10



新道コース分岐 11:13 気分よく尾根道を歩いている途中で新道コースの表示が現れた
指示通り右手の新道へ進むことにした



展望台広場に出るとそこは9合目だった 11:19 右に進むと山頂だが…
左にある展望台に寄ってみることにした



展望台 11:19 先着者が一人昼食中だった



少し霞んでいるが、皿倉山～福智山の稜線、貫山、香春岳、英彦山、馬見山、古処山等たくさんの山々を確認できた。それぞれまた登ってみたい。

少し休憩して山頂へ向かう。



グlausコース分岐を通過して山頂へ 11:32 下山コースはここから



山頂まで50m



弥山岳山頂 11:40 T師匠(左)との記念ツーショット

桂川町最高峰 弥山岳の標高377m

日本の最高峰 富士山の標高が3776mなので、丁度10分の1の高さとなる。

弥山岳×10＝富士山 なんだから面白い



三等三角点



山頂からの展望はない。山頂の先にも道は続いているようだが・・・。
ここでUターンして再度展望台へ。



展望台 11:54 <昼食休憩>
下界を見下ろしながら、のんびりランチ



テーブルの上に雑記帳(ケースに入っている)



英彦山三座(北岳・中岳・南岳)が頭を出している。

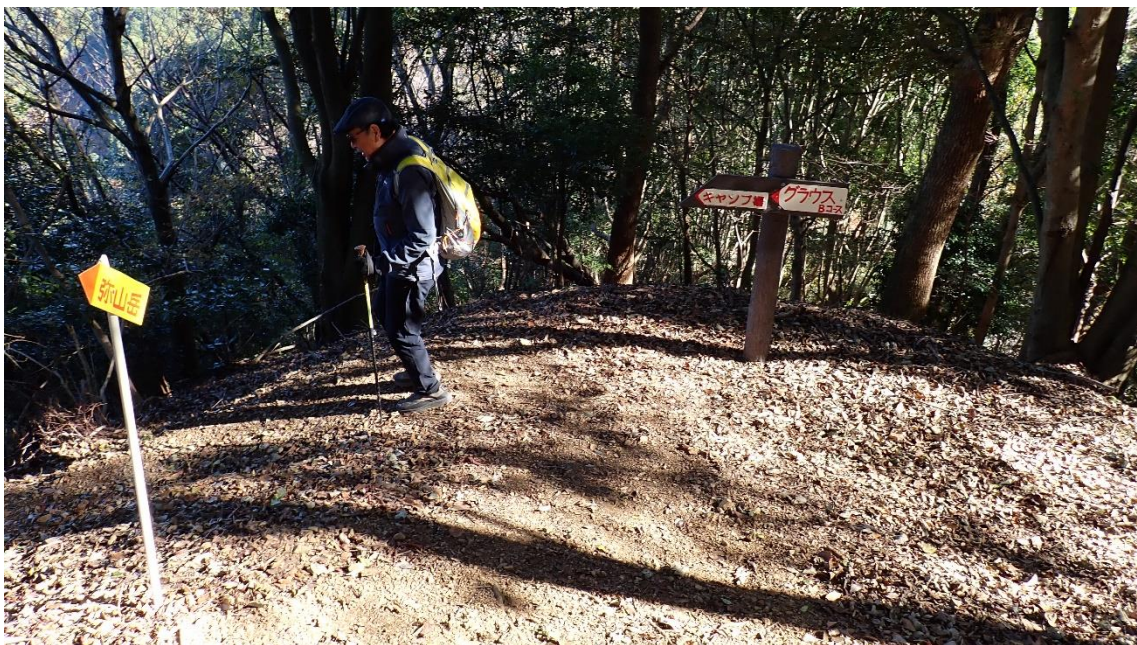


香春岳(三ノ岳・二ノ岳・一ノ岳)
一ノ岳は削られて**白い台地**になってしまった

昼食後、景色に別れを惜しみながら下山に取り掛かる。



グレイスコース分岐 12:38



グレイスBコース分岐 12:46 矢印通りに左へ下る

地図上の登山道は右側に続いているので少し歩いてみたが、途中で倒木を利用して通行止め
の形になっていた。倒木の先を見ると道は荒れていて人が歩いている様子はなかった。



ジグザグに急坂を下っていく 12:57 落ち葉が滑る



急坂が終わり、緩やかな登山道に飛び出した 13:01 この道が本来の登山道
グラウスBコースは本来の登山道へのショートカットコースとなっている



シダの茂る谷底を暫く歩いて行くと・・・ 13:04



グlaus登山口 13:09

護岸整備がしてある場所に小さな橋が架かっている
この橋の地点がグlausコース登山口となる
橋を渡り更に下って行く



キャンプ場まであと少し 13:11 落ち葉を踏みながらのんびりと…



七曲りコース登山口 13:14
周回終了で無事に戻ってきた！



湯の浦総合キャンプ場 13:20 出発時に3台駐車していた車は今はない



駐車場 13:23 ゴール
3時間03分の山歩きが無事に終了。

スマホの歩数計は8352歩。T師匠お世話になりました。
お疲れ様でした。